

# 令和3年度 十日町市当初予算案



目指すまちの姿

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」

## 第2次十日町市総合計画

後期基本計画 (R3~R7)

### 基本方針4つの柱

人にやさしい  
まちづくり

安全・安心な  
まちづくり

活力ある元気な  
まちづくり

まちづくりの推進に向けて

# 令和3年度 一般会計予算案

令和3年度 一般会計総額

363億2,000万円

前年度対比 + 5億円  
+ 1.4%

# 令和3年度 一般会計・特別会計予算案

## 総額

# 499億860万円

## 前年度対比△3,060万円 △0.1%

国保	： 49億6,800万円	△2億1,200万円
診療所	： 2億 90万円	+2,140万円
訪問看護	： 2,180万円	(新規設置)
後期	： 6億7,100万円	+500万円
介護	： 77億1,000万円	△3億7,200万円
温泉	： 1,690万円	+520万円

# 健全な財政運営の取組

## ● 公共施設等総合管理計画の着実な推進

- ・ 借地の解消及び遊休施設等の整理による経常経費の削減

### 《令和3年度》

中仙田教員住宅  
旧仙田小学校  
旧松里小学校

旧中央学校給食センター  
郷土文化伝習保存施設  
水沢運動公園（野球場）

6施設の解体等により年間の維持管理費  
206万円の削減

### 《令和元年度》

妻有焼陶芸センター、  
薬師プレーランドなど  
8施設の解体等により  
1,928万円の削減

### 《令和2年度》

旧名ヶ山小学校、  
旧中条地区教員住宅など  
11施設の解体等により  
493万円の削減



旧松里小学校

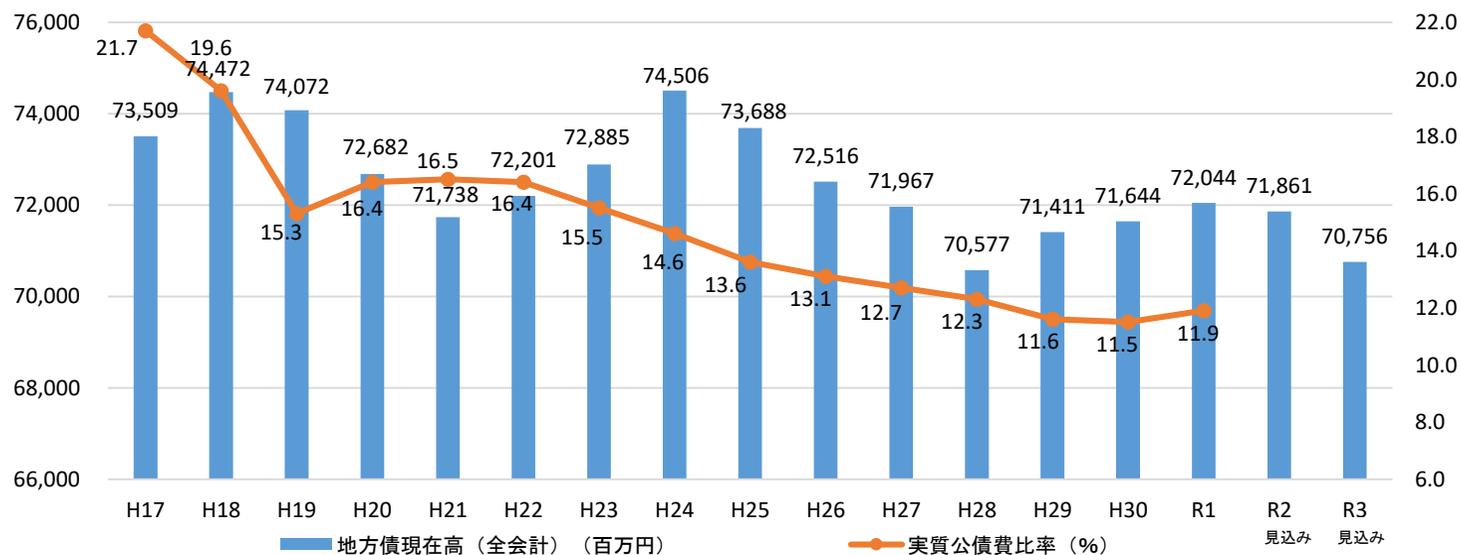
# 健全な財政運営の取組

## ● 将来負担の抑制

- 市債を適切に活用しながらも、若い世代や子どもたちにとって過度な将来負担とならないよう、**プライマリーバランス**の安定的な黒字の確保に努め、**市債残高**を適正に管理します。

令和3年度	一般会計	事業会計を含む全体
借入見込	51億 330万円	69億1,740万円
返済見込	54億8,782万円	80億2,271万円

地方債現在高(全会計)と実質公債費比率の推移



# 子育て環境の充実

## ● 第3子以降の保育料を無償化

(拡充) 1,421万円

- ・市独自の減免率をこれまでの50%から100%に拡大
- ・対象児一人あたり平均年175,000円の保育料を無償化し、多子世帯の経済的負担を一層軽減

## ■ 認定こども園の建設を支援

(継続) 4億6,199万円

- ・愛宕幼稚園とむつみこども園の新園舎建設に対する補助
- ・両園とも令和3年度中に完成予定



## 子育て環境の充実

### ● 親子で賑わう桂公園に多機能トイレを整備 (新規) 668万円

- ・ おむつ交換台を備えた多機能トイレを整備し、桂公園（中条児童遊園地）来園者の利便性と快適性を向上
- ・ 施設の充実を図り、積極的にイベント等を開催する管理運営団体を支援



### ■ 子どもの医療費を助成 (継続) 1億2,497万円

- ・ 小学校入学前までの子ども：入院・通院とも全額助成
- ・ 小学校から高校卒業までの子ども：入院は全額助成、通院は一部負担金530円を超えた金額を助成



人にやさしいまちづくり (1) 安心して子供を産み育てられるまち  
妊娠・出産に関する支援の充実

● 特定不妊治療費助成を拡充

(拡充) 402万円

- ・ 1組の夫婦につき通算6回だった助成を、一人の子につき6回まで拡充
- ・ 治療を受ける夫婦の所得要件(※)をなくし、一律上限20万円を助成  
※所得要件：730万円以上は1/2助成

■ 妊産婦の医療費を助成

(継続) 804万円

- ・ 妊産婦が支払う医療費(保険適用分)のうち、通院費の一部(530円)を除き、全額助成



# 学校教育施設の整備

## ● 計画的な学校施設の整備

(拡充) 1億1,025 万円

- ・ 小学校  
施設整備事業：「普通教室」空調追加設置（4校）
- ・ 中学校  
施設整備事業：「特別教室」空調設置（10校）  
環境改善事業：南中学校 老朽給水管更新  
省エネ化事業：松代中学校 屋内体育館照明改修

ほか

## ● 遊休教育財産を削減

(継続) 2億1,988万円

- ・ 教員住宅解体事業：中仙田教員住宅解体
- ・ 小学校施設解体事業：旧松里小学校 校舎・プール解体  
旧仙田小学校 校舎・プール・車庫解体



旧仙田小学校

# 教育環境の充実

## ● ICT環境の整備

(拡充) 308 万円

- ICT支援員による機器の設定や操作補助などを行うサポート体制を整え、タブレット端末を活用した学習を推進



## ■ 安定した学級経営を支援

(継続) 73万円

- 小学4年生と中学1年生に対しパソコン入力によるアンケート(WEBQU)を実施
- スピーディな分析により、児童生徒一人一人や学級の状態を把握し、安定した学級経営を図る



## 教育環境の充実

### ■ 小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進 (継続) 392万円

- ・義務教育期間9年間を通して児童生徒を育てる視点で、小・中学校が連携した効果的な学習指導や生徒指導体制の確立
- ・地域コーディネーターを軸とした学校運営協議会の運営の推進



### ■ 英語教育の推進 (継続) 1,052万円

- ・令和2年度から小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科を実施
- ・教育センター内「英語教育推進チーム」による小中学生を対象とした英語教育事業、および教諭に対する研修の実施
- ・ネイティブスピーカーによる外国語授業および国際理解教育のためのJET-ALTの配置 (5名)



# 教育環境の充実

## ● 学校給食費の完全公会計化

(新規) 199万円

- ・これまで各学校が集金していた学校給食費を、令和3年度からは口座振替等の方法により市が直接徴収
- ・市の完全公会計化により、教職員の負担軽減や保護者の利便性向上



## ● 大地の芸術祭を活用した教育を推進

(新規) 299万円

- ・大地の芸術祭に向けて、児童生徒の作品制作の参加や鑑賞を調整する指導主事を配置



# 福祉のまちづくりの推進

## ● 要援護世帯の除雪費用を助成

**(拡充) 3,685万円**

- 要援護世帯（高齢者世帯や障がい者世帯等）に対する屋根等の除雪費または融雪屋根の燃料費等の助成について、**新たに**市内に**多雪区域**を設定して助成額を**5,000円増額**

<拡充内容>

雪処理券 **多雪区域**：40,000円（新設・増額）

その他区域：35,000円

融雪屋根 **多雪区域**：20,000円（新設・増額）

その他区域：15,000円

※融雪屋根助成は、積雪量に応じた上限設定



# 高齢者福祉の充実

【介護保険特別会計】

## ● 介護保険料を減額

### 基準月額 6,200円 → 6,000円

- 第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）における介護保険料を現行の月額 6,200円から 6,000円に引き下げ
- 地域包括ケアシステムの推進と介護予防事業の充実を図り「地域共生社会」の実現を図る

【十日町市の介護保険料基準月額の推移】

期 別	基準額	期 間
第1期計画	2,800円	平成12年度～14年度
第2期計画	3,300円	平成15年度～17年度
第3期計画	3,700円	平成18年度～20年度
第4期計画	4,000円	平成21年度～23年度
第5期計画	5,000円	平成24年度～26年度
第6期計画	5,700円	平成27年度～29年度
第7期計画	6,200円	平成30年度～令和2年度
第8期計画	<b>6,000円</b>	令和3年度～5年度

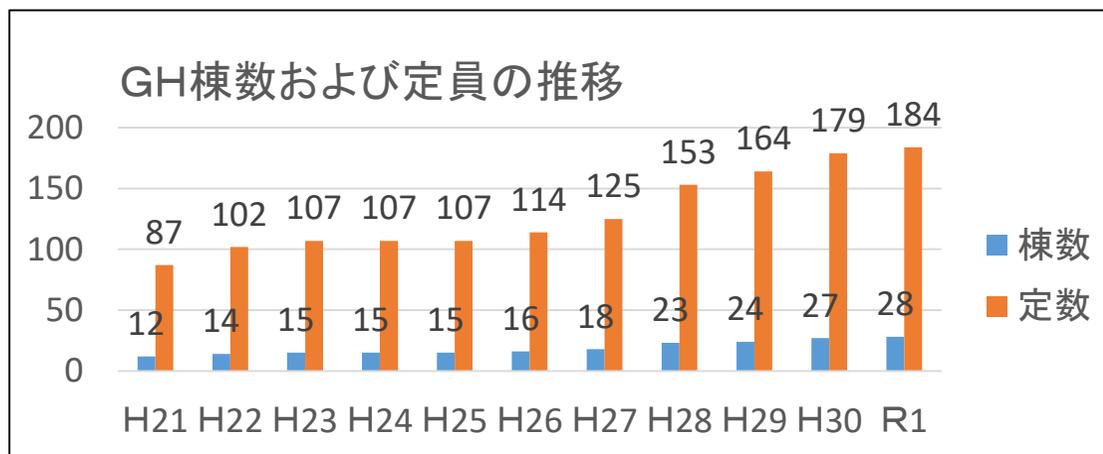


介護予防教室

# 障がい者福祉の充実

## ● 障がい者グループホームの開設を支援 (継続) 400万円

- ・障がいのある方が住み慣れた地域で生活するために、グループホームを建設する法人等に対し、建設費用の一部を補助 (1棟に対し、補助上限額200万円)
- ・病院等から退院された後の地域生活移行を支援
- ・棟数：28棟、定員184人 うち市内利用者156人 (R3年2月現在) 市外利用者 28人



グループホームエンゼルハウス春日Ⅰ (定員7人)



グループホーム逢坂の家 (定員5人)

# 怒涛の人の流れの創出

## ● 文化観光の推進

### ・ 文化観光拠点の魅力増進

**(新規)** 1億1,530万円

清津峡溪谷歩道トンネル案内サインの設置

文化財のデジタルアーカイブ化

オンラインミュージアム環境整備 など

### ・ 日本遺産を生かした文化観光の推進

**(新規)** 3,780万円

ガイドブックの作成、ガイドの養成、シンポジウムの開催

インフルエンサーの招聘、ホームページの作成

地域ロゴを活用したサインの作成 など



日本遺産

JAPAN HERITAGE

# 怒涛の人の流れの創出

## ● 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021」

(拡充) 4億1,071万円

### ■ コロナ禍の新たな時代に向けた地域づくり

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021」を開催

➤ 会 期 7月下旬～9月中旬

➤ 開催地 越後妻有地域（十日町市・津南町）760km<sup>2</sup>

➤ 主なプロジェクト

・ 越後妻有里山現代美術館／まつだい農舞台

リニューアルオープン

・ 清津峡渓谷トンネル：新たな作品の展開



# 怒涛の人の流れの創出

## ● (株)良品計画との連携プロジェクト

(拡充) 1,300万円

キナーレ魅力増進事業 地域おこし企業人交流プログラム事業

### ➤ キナーレ1F回廊の**新たなにぎわいの創出**

- ・ 大地の芸術祭に合わせたイベントの開催
- ・ 地場産マルシェ、ワークショップなどの開催
- ・ 里山文化を体感できる多様な文化プログラムの展開

### ➤ 中心市街地での**新たな取組の検討**や**観光・産業分野との連携**

- ・ 地域の**魅力の掘り起こし**と**事業化の可能性**を調査・模索



無印良品計画の移動販売車

## ■ 体験型観光誘客の促進

(継続) 6,550万円

- ・ 棚田バンクや三省ハウスを活用した協働による地域活性化
- ・ 冬季主要イベントの一体的実施による観光誘客の促進



大地の芸術祭の里 SNOWART

# 怒涛の人の流れの創出

## ● 「松代棚田ハウス」のオープン

(新規) 1,499万円

- ・ リノベーションした旧松代青少年研修センターを、棚田での農業体験、里山体験、ワーケーションの拠点としてリニューアルオープン



## ● アウトドア観光の推進

- ・ 清田山キャンプ場 (継続) 5,101万円

管理棟新設やオープンテラスの整備でグランドオープン

- ・ 大蔵寺高原キャンプ場 (継続) 693万円

WiFi施設、旧牧場内のウォーキングコースの整備など



# 怒涛の人の流れの創出

## ■ 中心市街地活性化基本計画で整備した 拠点施設を生かしたにぎわい創出

(継続) 3,211万円

- ・ 市民交流センター「分じろう」、市民活動センター「十じろう」、まちなかステージ立体駐車場の適切な管理運営とサービスの充実
- ・ 市民が主体となる「とおか市」、「まちなか学園祭」等、拠点施設等でのイベント開催
- ・ 「分じろう」での市民活動支援（相談窓口、助成、情報発信）
- ・ イベントや中心市街地の魅力等に関するPR



分じろうでの「とおか市」の様子



「まちなか×GAKUENSAI」の様子

# 活力ある農林業の支援

## ● スマート農業による省力化と販路拡大 (拡充) 2,645万円

- ・ 認定農業者、新規就農者等のスマート農業機械の導入を支援 (新規)
- ・ 新規就農者の農業機械の導入を支援 (新規)
- ・ 農産物の販路拡大を支援
- ・ 認定農業者の農業機械の導入や大型特殊免許の取得を支援



## ● 園芸の1億円増産プロジェクト (拡充) 530万円

- ・ 県やJ A等と連携し「かぼちゃ・ねぎ」等の産地化を推進  
法人や認定農業者に手厚い機械施設の整備支援 (新規)  
「かぼちゃ・ねぎ」の面積拡大に対する支援



ねぎの共同選別作業

# 活力ある農林業の支援

## ● 森林整備の推進 (拡充) 8,346万円

- ・市有林・市行造林の整備 (拡大) R2:36ha ⇒ R3:45ha
- ・「森林環境譲与税」を活用した行政による私有林の管理等
- ・カーボンオフセット事業 (調査・検証)  
森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジットとして販売

## ● 鳥獣被害への対応 (拡充) 427万円

- ・電気柵設置補助 (拡充) R2:40万円 ⇒ R3:250万円
- ・有害鳥獣駆除の担い手育成支援  
狩猟免許取得費用やライフル銃の新規取得費用等を補助

## ■ 農村振興と農業基盤の強化 8億6,400万円

- ・中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金  
農業、農村の多面的機能を発揮するための共同活動を支援
- ・基盤整備  
区画整理、ため池、用水路、農道、魚道、揚水機場等



森林整備作業



整備後の福島地区ほ場

# 地域に活力を生む地域経済の強化

## ● 人材の確保・育成と経営力強化

(拡充) 3,232万円

- ・「まちの産業発見塾」を津南町と合同で開催
- ・市内企業の人材確保、人材育成などの取組みを支援
- ・商工業関係団体の支援

## ● 新規創業・新分野進出の支援

(拡充) 1,082万円

- ・定期創業相談、創業セミナーの実施 (拡充)
- ・経営相談・販路開拓等、創業後のフォローアップ (拡充)
- ・新規創業や新分野進出を目指すビジネスプラン審査会の開催
- ・優れたビジネスプランに補助金を交付
- ・創業者向けインキュベーションオフィスの提供

## ■ 企業の設備投資と新規雇用の支援

(継続) 1億6,384万円

- ・企業の設備投資と雇用の増加に対して、各種支援措置により幅広くフォロー



まちの産業発見塾



ビジネスプラン審査会  十日町市  
NIIGATA, JAPAN  
TOKAMACHI CITY



# 市民による学びの場づくりへの支援

## ● 森の学校「キョロロ」にて里山の自然環境教育を推進

(拡充) 374万円

- ・ 自然環境教育に主眼を置く事業を再構築
- ・ 総合的学習や修学旅行などに対応できる体験型事業の開発と実践による学校教育との連携を強化
- ・ 里山の生き物探検、環境教育コンテンツの整備 など



## ■ 子ども・若者の心を育む環境の充実

(継続) 268万円

- ・ 信濃川ラフティング体験事業
- ・ アドベンチャースクール事業
- ・ 通学合宿事業
- ・ 家庭教育事業(なかよしランド) など



# 文化芸術活動の充実

## ● 千手中央コミュニティセンター

### ホール機能アップ工事

(新規) 2,505万円

- ・ホール照明設備のLED化による、機能アップと維持管理費の縮減（ホール一般照明、調光照明）



## ■ 多彩で親しみやすい公演の開催

(継続) 400万円

- ・自主事業の開催や他団体との共催事業

※ コロナウイルス感染症対策で令和3年度に延期した梅沢富美男劇団公演を開催



# 文化財の保存・活用の推進

## ● 博物館で夏季・秋季特別展の開催

(拡充) 593万円

### ・夏季特別展「形をうつす－文化財の新たな活用－」(仮)

日本で一番有名な土偶の重文「遮光器土偶」(東京国立博物館蔵)と、国宝「火焰型土器」が競演。これらの高精細レプリカも展示。また、国宝・土偶5体のレプリカが勢ぞろい。

### ・秋季特別展「岡本太郎が見て、撮った縄文」(仮)

太郎が自ら撮影した縄文土器の写真とその実物を展示。太郎が見た縄文に迫る。

## ■ 縄文体験観光プログラムの磨き上げ

(継続) 272万円

- ・縄文レストランを含む「生きた歴史体験プログラム(Living History)事業」を磨き上げて、笹山遺跡を活用した縄文体験観光プログラムとして定着をめざす。



遮光器土偶(東京国立博物館 所蔵・提供)



# スポーツの振興

## ● 十日町市陸上競技場の2種公認 更新改修工事 (新規) 2億8,398万円

- ・ 令和3年11月に陸上競技場の公認(2種)期限を迎える  
(公認の有効期間は5年)
- ・ 公認基準に合わせた改修を実施  
ルール変更に伴うレーン幅変更や水濠深さ変更の改修 など  
障害物競合移動障害物、計測カメラ等備品購入 など



## ● 東京2020オリ・パラ関連事業を 実施 (新規) 4,451万円

- ・ クロアチア共和国選手団事前キャンプを実施  
予定6種目：柔道、空手、テコンドー、陸上、射撃、自転車
- ・ オリンピック聖火リレー、パラリンピック採火式を実施
- ・ オリンピック、パラリンピックに出場する市ゆかりの選手の  
応援イベントを実施



## 移住・定住の促進

### ● UIターン者の増に向けた取組の推進 (拡充) 2,369万円

- ・ 最大**280万円**を助成するなど、UIターンする世帯や単身者に対し、基本助成や住宅支援、テレワーク支援などを実施



### ● お試し移住や空き家バンクの充実 (新規) 750万円

- ・ 地域交流やテレワークなどのお試し移住体験の受入れ、空き家バンク登録件数の増



貸しオフィス内でのテレワークの様子

## 移住・定住の促進

### ● 若者の奨学金等の返還を支援 (新規) 3,870万円

- ・ 年度当たり上限 **20万円**、5年間で最大 **100万円**を補助。
- ・ 市内に住所を定め、学校を卒業して就業しながら奨学金の返還を始める若者に、奨学金返還相当額の**補助金を交付**し、若者の市内への定住を促進
- ・ 対象となる奨学金は、十日町市奨学金及び日本学生支援機構奨学金

### ● 市出身学生を応援し継続的な関係性を構築 (新規) 252万円

- ・ コロナ禍の状況の中、市外で頑張っている市出身学生(1、3学年)を応援するため、故郷の特産品等を贈呈



## 中山間地域対策の強化・充実

### ● 地域おこし協力隊等の受け入れによる地域力の維持・強化

(拡充) 1億1,241万円

- 平成21年度から74名の隊員を受け入れ、令和3年度は新たに11名の隊員を受け入れる予定で、地域に更なる活力を創出

【令和3年度人数】

地域おこし協力隊（地域密着型）：18名（R2:8名）

地域おこし協力隊（ミッション型）：4名（R2:3名）

地域おこし起業人：1名（R2:1名）

### ■ 地域支援員による地域点検と課題解決に向けた取り組み

(継続) 4,976万円

- 地域の現状把握、地域の話し合い促進、これらを踏まえた地域活性化策を支援するため、地域支援員を配置

【令和3年度人数】

地域支援員：6名（R2:6名） 産業観光支援員：9名（R2:9名）



## 男女の出会い・交流機会の充実

### ● 「結婚新生活」の支援を拡充

**(拡充) 360万円**

- ・所得要件(R3より要件緩和) や年齢要件等を満たした場合、住宅賃借、引越し代等に要する経費の一部について **最大 30万円を補助**



### ● 「男女の出会い」の支援を拡充

**(拡充) 1,046万円**

- ・ハピ婚サポートセンターの運営等のほか、県のサポートセンター「ハートマッチにいがた」の入会登録費を **新たに支援**



# 防災体制の充実

## ● 防災情報の更なる発信

(継続) 538万円

- ・ 防災行政無線の本格的な運用を開始。併せて、十日町あんしんメール、市ホームページ、市報、エフエムラジオなどあらゆる媒体を用いた防災情報の更なる発信

【屋外】



【屋内】



デジタル同報系防災行政無線

## ■ 救急自動車を計画的に配備

(継続) 3,095万円

- ・ 救急体制の充実強化と救命率向上のため、消防本部の救急自動車と搭載機器を最新のものに更新



# 安全・安心なまちづくり (2) 生涯元気で健やかに暮らせるまち 地域包括ケアシステムの推進

【訪問看護事業特別会計】

## ● 市立訪問看護ステーションを新設 (新規) 2,180万円

- ・新潟大学寄附講座「十日町いきいきエイジング講座」の協力により、「出向くケアと医療」の仕組みづくりの一環として、十日町市医療福祉総合センター内に新設
- ・在宅における看護・介護の充実を図り、地域で安心して住み続けられる体制を整備

【主な業務】

高齢者の医療の確保に関する法律による訪問看護の業務  
健康保険法による訪問看護の業務  
介護保険法による訪問看護等の業務



医療福祉総合センター・県立十日町看護専門学校

# 地域医療の充実

## ● 新型コロナウイルスワクチン接種を実施 (継続) 1億5,804万円

- ・ 新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を防ぐため、ワクチン接種体制を整備
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種対策室開設 (令和3年1月)
- ・ 相談窓口を開設し、円滑な予防接種と接種率の向上を図る



## ● 県立十日町看護専門学校の学生を支援 (拡充) 300万円

- ・ 県立十日町看護専門学校に通う学生に対し、通学費補助の対象を現行の1学年時のみを2学年時まで拡充 (上限3万円/年)
- ・ 家賃補助 (上限12万円/年、3年間) は継続



県立十日町看護専門学校の実習

# 健康づくりの推進

## ● 生涯健康サポート事業をスタート

(新規) 817万円

- ・ 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を進める国の方針に基づいた**新たな事業**
- ・ 高齢者医療等のデータ分析を行い、生活習慣病や介護予防などの健康対策を一体的に実施
- ・ 新潟大学寄附講座「十日町いきいきエイジング講座」と連携した効果的な事業の運営



「通いの場」での健康運動

## ■ とおかまち健康ポイント事業を 実施

(継続) 58万円

- ・ 運動習慣の少ない働き盛り世代の方を中心に120名を募集し、健康づくりの意識向上と運動習慣の定着化を推進
- ・ 自己運動（ウォーキング等）、体重、体脂肪量の改善成果などにポイントを付与
- ・ 300ポイント到達者には十日町市カタログギフトを贈呈

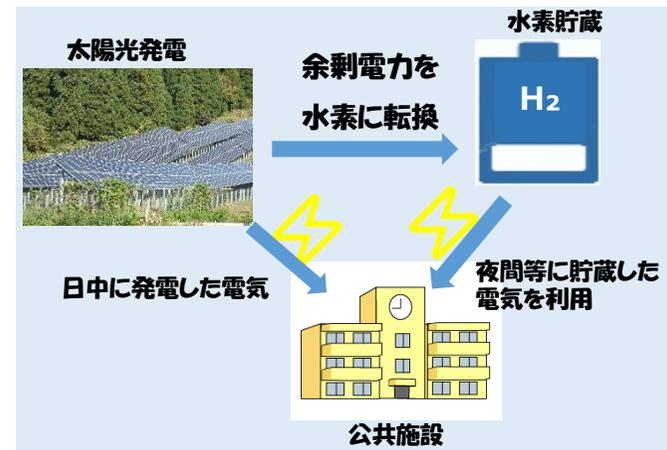


健康ポイント事業参加者

# 再生可能エネルギーの活用

## ● 高効率に水素へ転換・貯蔵するシステムの調査 (新規) 1,200万円

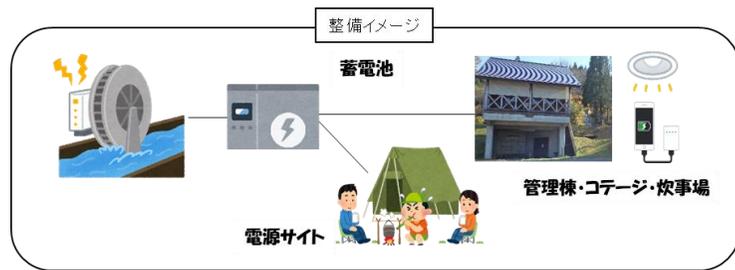
- ・水素を化石燃料ではなく、再生可能エネルギーから作る試みを知見のある民間事業者と共同調査
- ・市有施設に太陽光発電施設を整備し、発電余剰分を高効率に水素エネルギーに転換・貯蔵



水素エネルギー利用のイメージ図

## ● 水力発電事業の推進 (新規) 1,728万円

- ・清田山キャンプ場内の農業用水を活用した自家消費型小水力発電の事業化に向けた調査 (新規) 1,500万円
- ・JR東日本信濃川発電所宮中取水ダムから放流される維持流量を活用した水力発電の課題検討 (継続) 228万円



清田山キャンプ場内の水路

# 再生可能エネルギーの活用

## ● 再生可能エネルギーを活用した設備への補助 (拡充) 1,480万円

- ・ 一般家庭や事業所の太陽光発電、地中熱利用、木質バイオマスストーブ等の設置に対して補助金を交付
- ・ 予算の増額に加え、新たに「蓄電池」を補助対象に追加



融雪機能付き太陽光パネル・蓄電池

## ■ 本庁舎や学校へ太陽光発電 + 蓄電池設備の導入 (継続) 600万円

- ・ 本庁舎や学校での「省エネ対策」及び「災害時の非常用電源」としての活用を目的とした太陽光発電 + 蓄電池設備導入に向けた実施設計



市役所本庁舎 (南側)

# 脱炭素・循環型社会の推進

## ● 次期一般廃棄物最終処分場の建設

(継続) 19億4,327万円

【事業期間】 令和元年度～令和4年度 (全体事業費34億1,542万円)

- ・ 令和3年度事業 (全体事業費の約6割)  
処分場本体工事 (貯留構造物・被覆施設・浸出水処理施設)  
設計施工監理業務委託ほか



次期一般廃棄物最終処分場のイメージ

## ● し尿の一元化处理

(拡充) 7,713万円

- ・ 中里及び松之山地域のし尿を津南地域衛生施設組合から移行し、市のし尿前処理施設へ一元化することで、効率的な処理を実施

## ■ 十日町市エコクリーンセンターの計画的補修工事

(継続) 1億2,885万円

- ・ 1・2号炉耐火物補修。火格子・下部ホッパ点検整備ほか工事



十日町市エコクリーンセンター

# 道路網の整備

## ● 安全・安心な「みちづくり」

(継続) 8億8,210万円

- ・ 道路整備路線： 24路線

道路改良

市道稲荷町線ほか 2,155m

上沼道へのアクセス道路整備

市道高山水沢線の測量設計など 61m

歩道整備

市道高山太子堂線 40m

## ■ 橋りょう・トンネルなどの点検、 市道の舗装修繕 (継続) 9,056万円

- ・ 橋梁点検： 76橋

- ・ 大規模舗装修繕： 5路線

市道川治昭和町線、市道浅河原新町新田線、市道清田山線、  
市道松代大島線、市道藤原修行者線



# 計画的な土地利用の推進

## ● 地籍調査の推進

(継続) 657万円

(繰越) 6,141万円

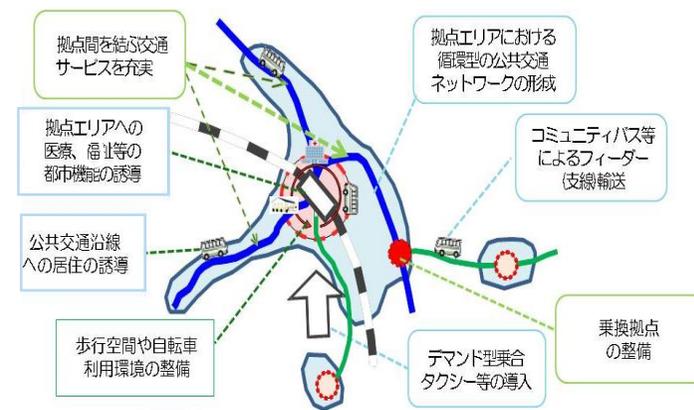
- ・平成21年度から開始した市街地内の調査を完了
- ・令和2年度の松代地域に続き、令和3年度は、**新たに松之山地域へ着手 (新規)**



## ● まちづくり計画の推進

**(新規)** (継続) 1,190万円

- ・持続可能なまちづくり計画の策定に向けた都市機能の立地等に関する調査、検討



# 住宅・公園等の整備

## ● 公営住宅を計画的に改修

(継続) 6,351万円

- ・ 令和2年度に公営住宅の現状の住環境や安全性を踏まえ、延命化等の方針を整理した「十日町市公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的に改修



<谷内丑住宅 外壁劣化部>

## ● 公園施設長寿命化計画の策定

(新規) 1,000万円

- ・ 延命化に向けたトイレや遊具の更新計画の策定
- ・ 魅力を高めるよりよい公園運営に向けた計画の策定



改修イメージ

# 上下水道の整備

## ● 清津峡地区への水道整備

(継続) 2億6,718万円

- ・水道未普及地域の解消

【事業期間】 令和1~6年度

【対象地域】 清津峡地区 (小出,角間,葎沢)

送水管整備 (東田尻~角間) L=2,585m

配水管整備 (角間) L=1,070m

実施設計 (水管橋 2 橋) N = 1式



## ● 水道整備への助成制度を新設

(新規) 415万円

- ・水道未普及地域で集落等が行う水道施設の整備、及び既存の水道施設の修繕に必要な経費の一部を補助

【補助率】

施設の新設及び更新 70%

施設の修繕 80% (交付金額: 上限10万円)

【令和3年度事業】

施設の更新 新田集落 (松之山地域) 配水池等



# 上下水道の整備

## ● 下島地区の浸水対策の推進

(継続) 5,800万円

- ・ 令和3年度事業 (事業期間: H26~R4)  
高田雨水幹線管渠布設工事 L=50m  
高田雨水幹線管渠布設工事に伴う水道管移設補償 1式

## ● 農集：鐙島地区の吉田北部特環への接続

(新規) 1,600万円

- ・ 令和3年度事業 (事業期間: R3~7)  
特環公共下水道接続実施設計委託業務 1式  
施設を統廃合することにより維持管理費の低減と  
施設管理の効率化を図る。

## ■ 下水処理場の施設更新の推進

(継続) 3,300万円

- ・ 令和3年度事業 (事業期間: H30~R6)  
汚水ポンプ改築工事 N=2基



豪雨による浸水被害 (H25.8)



# 市道除雪の充実

## ● 冬期間の安全・安心な交通確保

(継続) 13億5,824万円

- ・ 市道の機械除雪延長：約480km  
除雪基本料前払い制度による安定した除雪体制の維持
- ・ 消雪パイプ延長：約85km
- ・ 流雪溝延長：約52km

## ● 消雪パイプの更新

(継続) 1億6,560万円

- ・ 消雪パイプ更新：748m  
市道春日1号線ほか、市道中仙田中央線

## ● 流雪溝の整備推進

(継続) 6,310万円

- ・ 流雪溝整備：380m  
十日町地域川治地区、川西地域



## ● 雪下ろし時の転落事故等を防止

(拡充) 45万円

戸建住宅等の屋根雪下ろし時の転落を防止するための設備  
工事費の一部を補助

◆補助率：工事費の50%

◆補助上限額：一般世帯：10万円  
要援護世帯：15万円 } (前年度比 5万円の増額)



＜転落防止器具を利用した雪下ろし＞

## ■ 住宅の克雪化を推進

(継続) 1,991万円

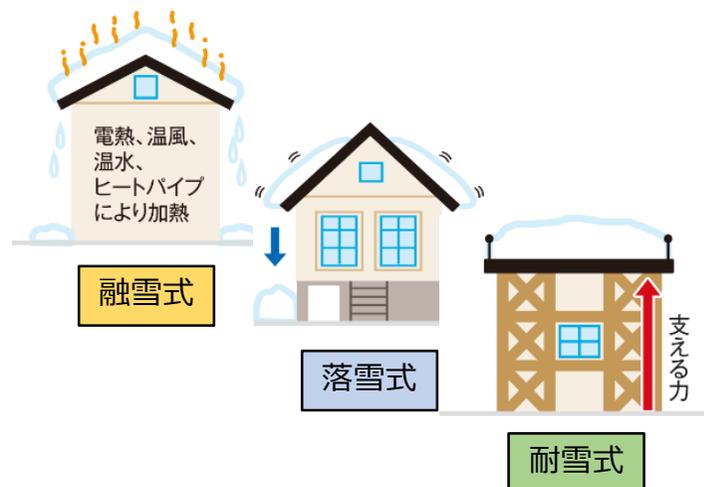
人力による雪下ろしなど住宅の屋根雪処理に伴う過大な負担と危険の軽減、冬期の居住環境の改善を図るために、住宅の克雪化工事費の一部を補助

◆補助上限額：融雪式・・・・・・・・・・44万円

耐雪式、落雪式・・・・・・・・33万円

※中心市街地活性化区域内で融雪、耐雪式  
の場合は、最大22万円上乗せ

※要援護世帯の場合は、最大11万円上乗せ



# 地域自治の推進

## ● 地域自治組織の取組を支援

(継続) 6,678万円

- ・ パワーアップ事業の予算を増額し、地域自治組織の実情に合わせた事業展開を支援
- ・ 行政との協働により、それぞれが持つ特性を活かした地域づくりを行う組織として平成24年度からスタート
- ・ 市は、交付金の交付や、事務補助のための人的支援を行うなど、その活動をサポート



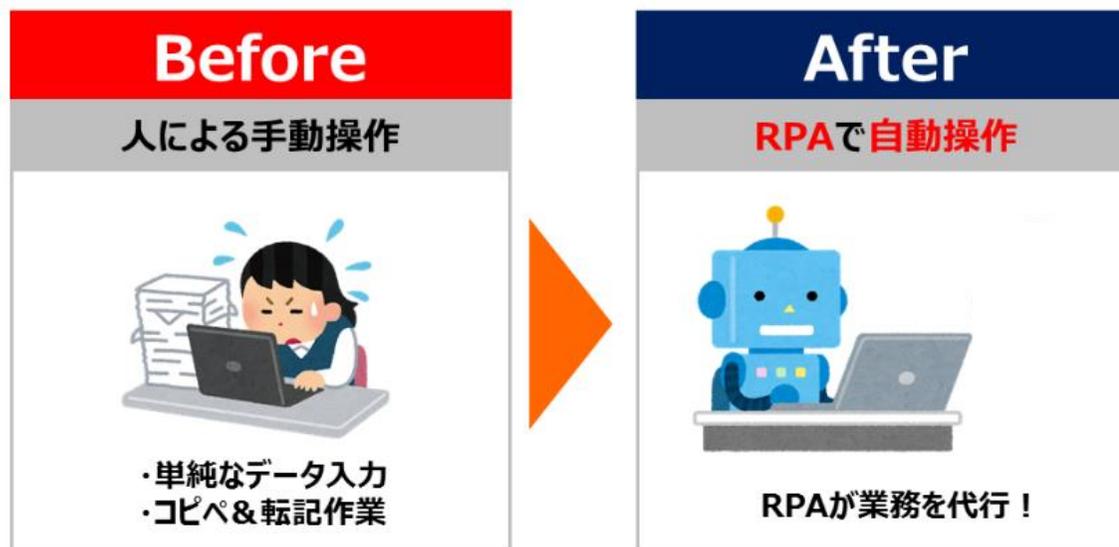
# Society5.0時代に即応した自治体への転換

## ● RPA等を導入し、スマート自治体への転換 (新規) 854万円

- ・スマート自治体への第1歩として、RPA等を導入し、事務改善や事務の効率化を推進

※RPA (Robotic Process Automation)

パソコンへの入力作業など、定型業務を自動化するソフトウェアロボット技術のこと



# ポストコロナの時代に向けて 新たな価値創造に挑戦

活力と魅力あふれる地方都市創生を目指す

(再掲)

## ● 新たな時代を拓く観光事業の推進

(新規・拡充) 3億233万円

- ・文化観光の推進、良品計画との連携プロジェクト、体験型観光誘客、松代棚田ハウスの活用、アウトドア観光の推進 など

## ● 市内外の人材を生かした地域振興の充実

(新規・拡充) 1億6,217万円

- ・地域おこし協力隊⇒地域密着型：18名 ミッション型：5名、  
地域おこし企業人：1名、地域支援員：15名

## ● U I ターン者や学生支援の強化

(新規・拡充) 7,241万円

- ・移住者に対する支援の強化、空家バンクの充実、奨学金返還への補助、  
学生支援（ふるさと応援便） など

**選ばれて 住み継がれるまち とおかまち**